

小学生1万人の調査で判明！リスの目撃増加！ ～こども「いきいき」生き物調査 2025 調査結果～

横浜市環境科学研究所では、市立小学校^{*1}の児童による生き物調査を実施しています。
今年は170校10,398人の児童に参加いただき、リスの目撃増加などの結果が得られました。
本調査は2013年に開始し、今回は13年目12回目^{*2}、参加児童数はのべ13万人を超えました。

1 調査の目的

- ・児童に地域の自然や生き物への関心を高めてもらうこと
- ・生物多様性保全に資する基礎データを取得すること

2 調査方法

過去1年間に、調査対象の生き物を「家や学校の近く」で確認した場合は○をつけてもらいました。

3 調査対象の生き物

リス、カブトムシ、スズメなど9種類を選定しました。

4 調査結果

生き物を確認した人の割合（以下、確認率）を学校ごとに集計し、市内全域における確認率の高低を色の濃淡で表しました。

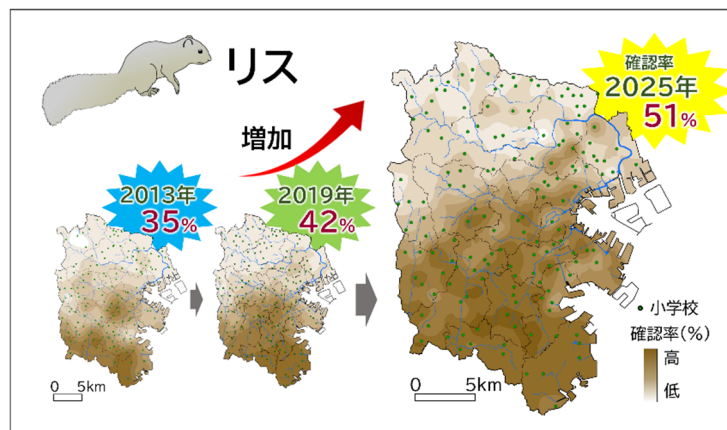
市内で見られるリスは、外来種のクリハラリス（タイワンリス）で、南部に多く、北部に少ない状況が読み取れました。分布は徐々に北へ広がり、市全体の確認率は2013年の35%から今回の51%へと約1.5倍に増えました。

一方、カブトムシの確認率は2013年の72%から減少し今回は59%でした。

結果は、概要版（別添）及び報告書^{*3}として市立小学校に送付します。



調査票



リスの調査結果（2013～2025年）

*1 義務教育学校前期課程を含む。

*2 2020年はコロナ禍のため実施しませんでした。

*3 右の二次元コードまたは下のURL参照。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naiyou/tayosei/ikiiki.html>



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

5 横浜市におけるクリハラリス（タイワンリス）対策

クリハラリスは、在来の生態系に被害を及ぼす恐れがあることなどから「特定外来生物^{*4}」に指定されています。

横浜市では、神奈川県クリハラリス（タイワンリス）防除実施計画^{*5}に基づき、市民や事業者の方が捕獲等の届出を行った場合に従事者証を交付するとともに、従事者証をお持ちの方が捕獲した個体の回収を行っています。

クリハラリスの防除に向けては、被害や分布状況に応じてさらに取組を進めていきます。

^{*4} 外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。指定された生物の取り扱いについては、輸入、放出、飼養等、譲渡し等の禁止といった厳しい規制がかかります。

^{*5} 下の URL 参照。

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/108156/kurihararisu_bojo_plan.pdf

お問合せ先		
(こども「いきいき」生き物調査 2025 調査について)		
みどり環境局環境科学研究所長	高須 豊	Tel 045-453-2550
(クリハラリス(タイワンリス)対策について)		
みどり環境局環境活動事業課長	森山 晴美	Tel 045-671-3448



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

